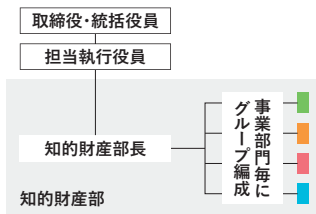


知的財産戦略

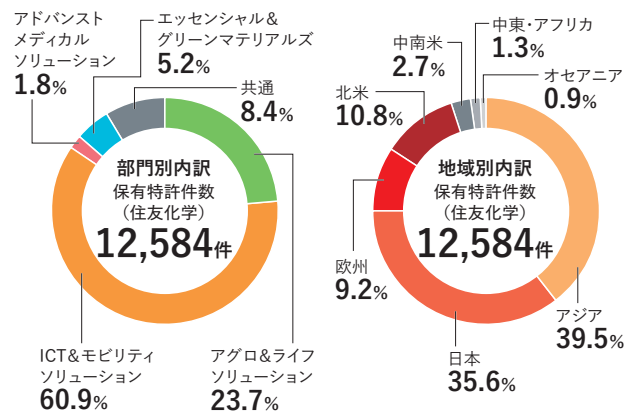
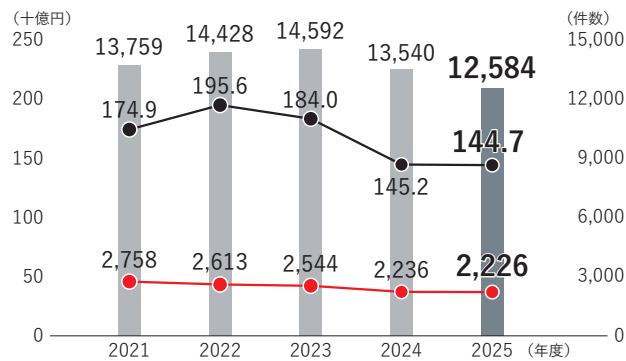
知的財産活動は当社の持続的な成長を支える重要な要素であり、その考えのもと、当社は事業競争力の礎となり成長戦略を牽引する知的財産戦略を推進しています。事業保護や実施自由度の確保を目的とした「守り」、参入障壁を意識した強力な特許ポートフォリオの構築・活用による「攻め」、さらに環境負荷低減などの社会課題への対応に不可欠な多様なプレイヤーとの「共創・協調」を柱として、知的財産活動を展開しています。

目指す姿	「攻め」と「守り」、「共創・協調」の知的財産活動の積極的な推進による、事業競争力の礎の構築と、事業成長・企業価値向上の実現
基本方針	①事業戦略と一体となり推進する ③すべての技術開発成果の活用を図る ②グローバルな事業価値を生み出す ④法を順守し、権利を尊重する
事業に密接した実行体制	知的財産部門は、各事業部門に応じたグループを編成し、事業部や研究所の知的財産担当グループとも連携しながら、知的財産戦略の策定、特許ポートフォリオ管理、特許出願・権利化業務、調査解析業務を遂行しています。
特許ポートフォリオ	当社の成長ドライバーとして位置付けているAGL、ICTMなどの重点分野を中心に出願、特許化を強化しつつ、事業上の価値やコストデータの解析も通じて不要分を迅速かつ的確に処分し、より筋肉質な特許ポートフォリオを構築しています。



知的財産関連実績

● 研究開発費(住友化学グループ)



知的財産分野におけるDX活動

急速に進展する生成AI技術を積極的に活用し、知的財産業務の効率化に取り組んでいます。生成AIのモデルや知財関連ツールが次々とリリースされる中、各部署の担当者がコミュニティを通じて検討状況を共有・連携しながら各ツールの導入検討や生成AIの活用を深化させています。これにより、調査業務の効率化・高度化やAI翻訳によるコスト削減を推進するとともに、特許・事業情報のAI解析を通じて技術・事業概要を迅速に把握し、IPランドスケープに活用しています。



- 調査**
- ・検索集合形成
 - ・先行文献調査
 - ・FTO調査における他社特許の判定
 - ・AI要約や課題・実施例抽出による査読・解析性向上
 - ・IPランドスケープへの活用

- 出願審査**
- ・AI翻訳によるコスト削減
 - ・対話型での出願明細書・応答書類作成検討

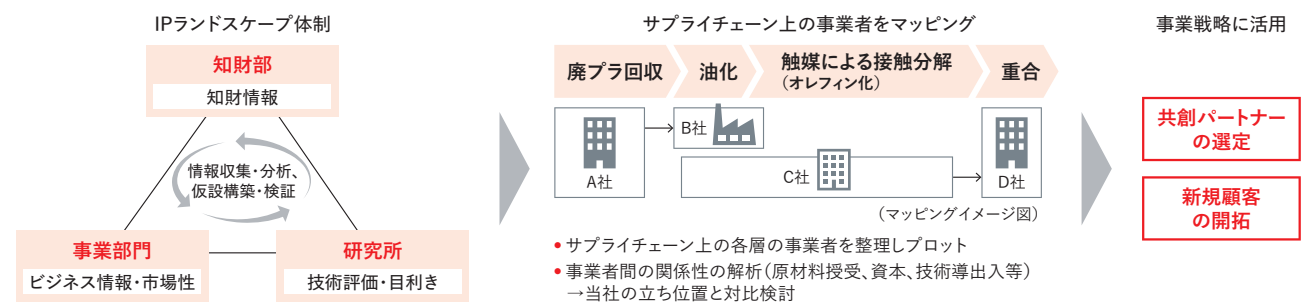
事業戦略に連動した知財戦略の実践

事例紹介 ～廃プラスチック ケミカルリサイクルにおける知的財産活動～

当社は、イノベティブな技術で社会課題を解決する企業を目指し、食糧・ICT・ヘルスケア・環境の4分野の事業に取り組んでいます。知的財産活動も、こうした事業戦略を支える重要な機能として、事業と一体で推進しています。

環境分野では、環境負荷低減社会の実現に向け、廃プラスチックから熱処理により回収される油分を出発点に、触媒による接触分解を通じて原料化(オレフィン化)して重合工程に戻すケミカルリサイクル事業モデルを検討しています。知財部、事業部門、研究所が密接に連携して、当社が競争力を有するコア領域、他社へのライセンス領域、共創領域を特定し、公知化／権利化を定めて特許出願・権利化活動を進めています。また、本事業では様々な事業者が複雑に混在し情報も収集しにくく状況把握に大きな課題がありました。そこで、事業部が有する事業情報に知財情報も加えながら、サプライチェーンに沿った全体像の解析、潜在的な協業候補や競争相手の把握を進め、事業者の立ち位置や関連性を整理しました。それにより、皆が同じ絵を見て認識を共有できるようになり、事業シナリオ検討に役立てています。

廃プラスチックケミカルリサイクル事業におけるサプライチェーン解析と活用



水戸社長×澤井WIPO日本事務所長 特別対談

企業における知財の在り方と重要性

2026年2月17日、世界知的所有権機関(WIPO)主催の「知的財産と経営シンポジウム」で水戸社長がWIPO日本事務所の澤井智毅所長と対談しました。知的財産部長の頃の経験も交えながら、社長自ら企業における知的財産の重要性についてメッセージを発信しました。

対談で語られた知的財産に対するメッセージ

知的財産の重要性を知り、経営に活かす

- ・会社としてまずは経営層が知財は重要なだと認識すること、そして知的財産部の人だけでなく、研究、開発、事業部門のすべての人が知財の重要性を認識し、日々の業務につなげていくことが必要である。
- ・経営層は、事業環境に応じて知財が複雑化していることを理解して戦略を構築しなければならず、限られたリソースを自分たちの強みに集中して勝ち筋を見出すことが必要。事業・研究開発活動に知財戦略をいかに組み込んでいくかが大切となる。
- ・権利者として知財をどう活用し収益化するかは非常に大きなテーマと考えている。

グローバルカンパニーとしての知財戦略

- ・当社の海外売上高比率は7割を超えており、海外でどのように権利を確保するかというのは非常に重要。
- ・一律的ではなく、事業部門ごとの戦略に沿って、市場国の状況を踏まえた特許ポートフォリオの構築が必要。

WIPO日本事務所が「知的財産と経営シンポジウム ～特別対談 住友化学 水戸社長を迎えて～」を開催

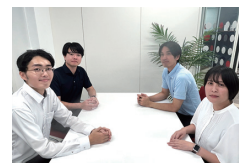
TOPICS

若手メンバーの声

社長と若手知財部員の懇談会(2026年5月)

若手知財部員の業務や仕事に対する想いを題材に社長と懇談をしました。

水戸社長との座談会を通じて、事業における知財活用への期待の大きさを強く感じました。また、知財部だけでなく他部署とも連携しながら価値を生み出していくことの大切さも学びました。さらに、「人の話をよく聞く」「仕事を楽しむ」という社長のお話が印象に残り、そうした姿勢が視野を広げることにつながると感じました。直接お話しできたことで大きな刺激を受け、今後の業務への意識とモチベーションが高まりました。



参加した知財部の若手メンバー